

# 教えて！まちの話題 すみだ見聞録



今回から身近なまちの話題を紹介する新コーナー「すみだ見聞録」がスタートします。それでは早速今月の話題を紹介します。

墨田区長  
山本 亨

## 元気なすみだのこいのぼり！

色とりどりのこいのぼりが、すみだの空を泳ぎました。場所は都立東白鬚公園です。このこいのぼりは、区内をはじめ全国各地から寄贈していただいたもので、平成9年に始めた当時は120匹ほどだったものが、今では約450匹にまで増えました。近所の保育園の子どもたちも、たくさんのこいのぼりに大はしゃぎでした。  
(坂井紘彌さん)



450匹ものこいのぼりを一度に見られる機会はなかなか無いので、子どもたちにとっていい思い出になったことでしょう。



## “おもてなし”で広がる人の輪

企業対抗駅伝東京大会が今年もすみだにやってきました。地元として、会場に「墨田区八広おもてなし処」を設け、ランナーや応援の方々を心をこめてお迎えしました。ここからたくさんの交流が生まれ、地域の活性化につながることを願っています。  
(本多信悟さん)



駅伝を通しての交流。素晴らしいですね！地域の“おもてなし”は、参加されたランナーたちの励みになったことでしょう。



## 元気いっぱい！わんぱく相撲大会！

先日、東京青年会議所墨田区委員会では、第40回わんぱく相撲墨田区大会を開催しました。700名近くの区内の小学生が参加し、過去数年間で最大規模の大会となりました。参加者からは「学校対抗でチーム一丸となって頑張れたのが良かった」、「大会を通じて友達ができてうれしかった」といった声がありました。来年も今年以上の大会と

なるよう、子どもたちに負けないう頑張りです。  
(堀 貴光さん)



みんな元気いっぱい楽しそうですね。子どもたちの笑顔を見ていると元気になります。



## 皆さんの身近な“まちの話題”をお待ちしています！

**【募集内容】**皆さんの活動や、地域の身近な出来事などをまとめた原稿(150字程度)と写真(1、2枚) \*原稿には、題名、その時の様子、撮影の日時・場所を記載**【応募方法】**原稿・写真と、コーナー名・住所・氏名・電話番号を直接または郵送、Eメールで随時、〒130-8640 広報広聴担当(区役所6階) ☎5608-6223・✉OSHIRASE@city.sumida.lg.jpへ \*写真は▶直接・郵送=A4サイズに出力するか、jpeg形式でCD-Rに保存 ▶Eメール=jpeg形式で添付(1通あたり3MB以内) \*8月1日号掲載分の締切りは7月1日(必着)**【注意事項】**▶被写体に人物が含まれている場合は、肖像権の侵害等が生じないように、ご本人(未成年の場合は親権者)の了承が必要 ▶原稿や写真と一緒に氏名も掲載 ▶応募された写真および原稿は区ホームページ等、他媒体で使用する場合あり ▶応募された写真および原稿は、紙面への掲載にあたり、一部手直しをする場合あり \*詳細は問い合わせるか、区ホームページを参照

# 夢

## 「人つながる 墨田区」で地域力の向上を

墨田区長  
山本 亨

去る5月13日に区の自治振興や区民福祉の向上、産業や教育の振興等に功労のあった43人の方に“区功労者”として表彰状をお贈りし、これまでの御功勞への感謝と、今後の益々の御活躍への期待を申し上げました。区功労者の方々の活動は、すみだの“地域力”向上の大きな原動力であると確信しています。

地域力を高めることは、私がめざす「暮らし続けたいまち 働き続けたいまち 訪れたいまち」の実現につながります。その基盤になるのは、「人と人とのつながり」であると思います。人と人とのつながりを大切にする伝統が今も息づく墨田区には、将来の発展に向けてとても大きな潜在力があると考えています。そのつながりをさらに強固にするとともに、つながりの輪を一層

広げていくため、数多くあるすみだの魅力を効果的に情報発信する「シティプロモーション」を積極的に展開していきます。

「人つながる 墨田区」をキーワードにしたこの取組によって、より多くの人にすみだに愛着や誇り、憧れや共感を持ってもらうことで、まちづくりの好循環を生み出し、「夢と希望を育む、どこよりも素敵で魅力的なまち」に近づけるものと信じています。

さて、今年も雨のシーズンがやってきます。日本人には、雨の風情を楽しむ繊細な感性が備わっています。降り方の違いを感じ取ったり、花との調和を愛でたりするなど、この時期ならではの雨の味わい方を探してみたいでしょうか。



すみだの地域力向上の大きな原動力となった区功労者の方々に、表彰状をお贈りしました